第２章　子どもと共に育つ

年　　組　　番

⑤ 赤ちゃんとお母さんを学校へ招待しよう

名前

❶　事前に，乳幼児を世話するときの注意点を確認しておこう。

世話の内容	注　意　点	備　考
手をつなぐ	・乳幼児を世話するときの注意点は，きょうだいや親戚の子どもなどで経験をしたことがある生徒や，教職員にインタビューして体験談を話してもらうと分かりやすい。 ・人見知りをする時期（６か月前後）など，子どもがいやがるときは無理して抱っこをしない。 ・遊び方や作り方，読み方は，月齢・年齢を設定し，その時期に適したものを用意する。 例：身体を使った遊び １歳　「座ってキャッチボール」 保育者は足を開いて，子どもと向かい合って座る。保育者と子どもの間で，ゴムボールを転がしてキャッチボールをする。 ４～５歳児　「縄跳び」，「ボール遊び」	
抱く		
おんぶする		
おむつを交換する		
ミルクを与える		
その他 （　　）		

❷　月齢・年齢に合った遊びを考え，遊び方や作り方，読み方を練習しておこう。

遊びの種類	遊び方	備　考
手遊び （　～　歳）		
自然を使った遊び （　～　歳）		
身体を使った遊び （　～　歳）		
絵本 （　～　歳）		
紙芝居 （　～　歳）		
その他（　　） （　～　歳）		

❸　保護者に聞きたいことをまとめておこう。聞いて分かったことはメモをとり，体験学習後にまとめよう。

質問事項	分かったこと	備　考
妊娠中や出産で大変だったこと		
子育てで楽しいこと		
子育てで大変なこと		
親になって変わったこと		
子どもへの思い		
高校生に伝えたいこと		
その他 （　　）		

❹　体験学習で得られたことをまとめよう。これから子どもと接するとき，今回の経験をどのように生かせるか考えよう。

■体験当日の注意事項

１．体験開始前の諸注意をよく聞き，乳幼児の安心・安全に細心の注意を払う。
２．まず，手をつなぐ，抱く，おんぶするなど，身体で触れ合う体験をする。
３．自分が体験するだけではなく，ほかの人が世話をしている様子も観察する。
４．質問事項はまとめて聞き，聞いたことはメモをとる。